










各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和4年 12月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  大阪、空室率高止まり
- (2)  都道府県ランキング 家計調査編 投資
- (3)  日本人「身長の限界」に到達？ 伸び停滞「すでに低下」説も
- (4)  資源ごみ持ち去り横行 廃棄物、窃盗罪には問えず
- (5)  ゼネコン7社 下方修正 大手・準大手の今期最終
- (6)  国内建材需要に停滞感 資材高で工事中止・延期増
- (7)  幅都道府県ランキング 家計調査編 負債
- (8)  シェアサイクル 大阪疾走 自転車で通勤・通学全国1位
- (9)  「風呂は熱々」もはや少数派

(1) 大阪、空室率高止まり

- *大阪では、ビル間の競争激化が賃料相場に影響。
 - ・新築ビルの賃料を示す指数は185.96で、前年同期と比べて2.95ポイント低下。
 - ・既存ビルは150.09で同2.58ポイント上昇。
 - *開発が急速に進む新大阪で新築ビルが続々と建設されているものの、新型コロナウイルスの感染拡大という誤算もあり、空室率が高止まりしています。
 - *大阪中心部の9月のオフィス空室率は、前月より0.04ポイント低い5.08%。
 - ・1年前と比較すると0.75ポイント上昇。
 - *新大阪地区の空室率の上昇は激しく、9月は9.68%で前年同期比2倍弱。
 - ・新大阪空室率が高い要因は、新築ビルの供給過剰。
- (2022年11月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) 都道府県ランキング 家計調査編 投資

積極的、京都2位 神戸3位

- *1世帯あたりの貯蓄に占める株式や投資信託などの有価証券の割合をみると、投資に積極的な都市と消極的な都市で8倍超の差があります。
- *投資額は全国平均で198万円。
 - ・貯蓄(1454万円)の13.6%。
- *貯蓄の年収比が首位だった京都市は投資割合でも2位に。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

*国際的にみると、日本の投資割合は低くなっています。

・家計の金融資産構成の国際比較では、2022年3月時点で株式などの割合が米国は55.0%、欧州は31.5%で、日本は16.0%。

☆投資に積極的な都市ランキング

順位	県庁所在地	貯蓄比投資割合 (%)	投資額 (万円)
1	東京都区部	26.9	637
2	京都	22.4	494
3	神戸	19.1	297
8	奈良	16.6	336
16	大津	11.1	212
21	大阪	9.1	72
27	和歌山	8.2	107
28	名古屋	8.0	145
45	徳島	4.9	82
46	鳥取	4.8	59
47	佐賀	3.0	28

(2022年11月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(3) 日本人「身長限界」に到達？

伸び停滞「すでに低下」説も

*17歳の平均身長は1994年度に男性170.9cm、女性158.1cmを記録して以降、2021年度まで30年近く横ばいが続きます。

*江戸時代の男性は平均157.1cmなのに対し、縄文人は159.1cm。弥生人は161.4cm。

・古墳時代で163cm。

*動物は特定の場所で個体数が増えると小型化する傾向があります。

*1896~1996年の100年間に生まれた人の18歳時点の身長は、日本は14.6cm、女性は16cm高くなりました。

・経済成長した国では身長の伸びが大きくなり、政治的・経済的困難があった国は小さくなる傾向があります。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- *日本人の成人平均身長は、すでに低下し始めたとする研究も。
 - ・1980年以降に生まれた成人の平均身長は低下していました。
 - ・2014年生まれの人は1980年生まれに比べ成人時に男性で1.5cm、女性は0.6cm低くなると予測。
- (2022年11月5日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) **資源ごみ持ち去り横行 廃棄物、窃盗罪には問えず**

アルミ缶買い取り価格、2年で2.6倍

- *ごみ集積所からアルミ缶を持ち去る行為が後を絶ちません。
 - *アルミ缶の買い取り価格は、中国の減産などを背景に2年で2.6倍に高騰。
 - *貴重な収入源を奪われる格好の自治体は、条例による規制やパトロールの強化に乗り出しています。
 - *資源廃棄物は民法上、所有者のいない「無主物」として扱われ、廃棄物の持ち去りは「窃盗罪」では取り締まられません。
 - *国内でアルミ缶が流通し始めたのは1970年代。
 - *2020年度のアルミ缶のリサイクル率は94%に上り、段ボール(96%)やスチール缶(94%)と並ぶ高水準。
 - *持ち去りや買い取りを禁じる条例を制定していない自治体も。
 - ・アルミ缶の売却が路上生活者や貧困家庭の収入源となっている側面もあるため。
 - *資源ごみの持ち去りは環境資源ではなく、社会福祉の問題に近いのでは。
- 自治体改修などで9割超 リサイクル率**
- *日本のアルミ缶のリサイクル率は94%で、ドイツ(99%)や北欧諸国に続く高水準。
- (2022年11月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(5) **ゼネコン7社 下方修正 大手・準大手の今期最終** **建材上昇、引当金増も**

- *上場ゼネコンの2023年3月期の業績予想の下方修正が相次いでいます。
- ・大林組、戸田建設など7社が同期の純利益予想を引き下げ。
- *H形鋼など建材の価格が上がり、工事原価がふくらんでいるから。
- ・H形鋼は1年前に比べて2割ほど高くなっています。
- ・2020年の直近底値との比較では約6割上がっています。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

*大手4社で純利益予想を上方修正したのは鹿島だけ。
*予想される赤字工事の損失を予め計上しておく工事損失引当金は、大手・準大手13社ベースで前期末に合計1756億円と、前の期末に比べて3.2倍に。

(2022年11月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(6)  **国内建材需要に停滞感 資材高で工事中止・延期増**

中小物件向け 景況不安、投資慎重に

*鋼材や木材などの建設資材の国内需要に停滞感が出てきました。
*建材高による建設コストの上昇で工事を延期する動きも。
*H形鋼の出荷量は9月に68,900トと前年同月比3.5%減。
・出荷量が前年同月を下回るのは4か月連続。
*国産針葉樹合板の9月の出荷量は209,232M3と3か月連続で減少。
・2015年5月以来の低水準。
*9月末の国産針葉樹合板の在庫量も8月末より3割多く、2020年8月以来の高水準。
・合板メーカーの多くは10月から1~2割の減産に踏み切りました。

建材価格、直近は頭打ち

*H形鋼の東京地区の問屋仲間価格では、2020年の直近底値からの上昇幅は6割に達しますが、ここ5か月ほどは同水準。
*針葉樹合板も6月から同値水準が続きます。
*ビニール樹脂の国内取引価格も5月から横ばい。
*建材の高騰が足元の建設投資の意欲を冷ます要因のひとつに。

(2022年11月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(7)  **幅都道府県ランキング 家計調査編 負債**

大阪・奈良「借金」少なく さいたま最多、持ち家志向

*世帯主が勤めに出ている2人以上世帯の2021年の負債額は、全国平均で856万円。
・住宅や土地のための負債が9割。
・平均年収(749万円)の1.14倍。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- *最高はさいたま市の1.51倍。
- ・住宅ローンを積極的に活用する世帯の増加が背景に。
- *持ち家率が高い都市ほど負債の年収比も高い傾向。
- ・負債の年収比が最も少ないのは県の持ち家率が最も低い那覇市。
- *関西2府4県では、和歌山市が14位で最も上位。
- ・大阪市は全国平均を下回りました。
- ☆負債の規模が大きい都市ランキング

順位	県庁所在地	負債の年収比	負債額
1	さいたま市	1.51倍	1411万円
2	津市	1.48	1102
3	山口市	1.47	996
8	名古屋市	1.39	1110
14	和歌山市	1.31	828
20	大津市	1.24	973
21	東京区部	1.21	1187
23	神戸市	1.20	952
	全国平均	1.14	856
33	大阪市	1.11	743
40	奈良市	0.98	782
46	岐阜市	0.68	545
47	那覇市	0.54	310

(2022年11月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(8)  **シェアサイクル 大阪疾走**

自転車で通勤・通学全国1位 豊中など放置対策へ普及

- *比較的平坦な土地が続く関西では、生活に自転車が密着。
- *通勤・通学で「自転車のみ」を利用する人の割合を示す「自転車分担率」は、全国で唯一大阪府が20%を上回ったほか、京都府も15%強と全国2位。
- *放置自転車や走行時の安全面での問題が、自転車のさらなる利用促進を妨げる要因。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

*豊中市は駐輪場の整備を進めることで、2018年度には10年前に比べて平日1日当たりの放置自転車を9割減らすことに成功。

・スマホで利用者登録をして使えるシェアサイクルの実証実験に着手。

(2022年11月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(9) 「風呂は熱々」もはや少数派

41度以下が65% 「ぬる湯」も人気

*熱い温泉は昔は多かったですが、暑すぎるという声で全国的に減ってきたよう。

*特に若い世代で熱い湯を嫌がる傾向。

・42度を超えると熱すぎるという感覚。

※リンナイの調査

*風呂温度を42度以上に設定していると答えた人は2016年に41.2%、2020年には33%に減少。

*39度以下のぬる湯に設定している人は60代が8.8%、20代では2割近くに。

*熱さを感じる皮膚のセンサーは若いころの方が敏感で、同じ湯温でも若い世代は熱く、高齢者はぬるく感じるよう。

*入浴は40度程度が適切という知識が広まり、全体的に低めの湯温が好まれるように。

☆風呂でリラックスして疲れを取るには

*40度ほどのお湯に10分が目安。

*血流を改善して疲れを取るには、体の内側の体温を0.5度ほど上げる必要。

*42度以上のお湯では頭がさえてしまう。

*「40度で10分」はあくまで室温20℃前後の実験室での話。

*暑い夏なら37度でも体は温まります。

・入浴時間は長めに必要で、目安は20分。

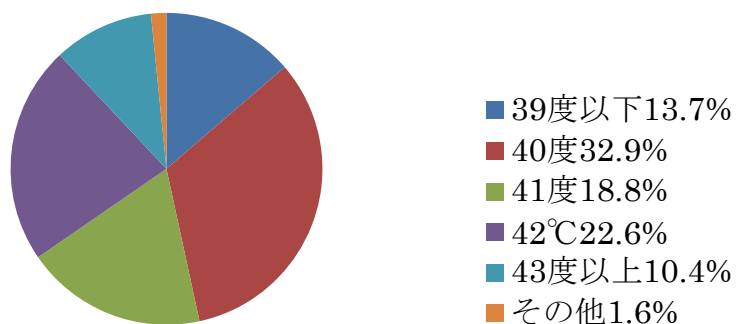
・体が汗ばんできたら上がり時。

*「温泉」と認定されるのに必要な最低温度は25度。

・ラドンなど規定成分が必要成分が含まれていれば25度を下回っていても構いません。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

42度以上の入浴は減少傾向（2020年）



(2022年11月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

